施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～ 分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり～
政 策	1	創意と活力に満ちた心豊かな教育環境づくり
基本方針	新しい時代を担う子どもたちが、変化の激しい社会を生きぬくため、創意と活力に満ちた特色ある教育環境を整備するとともに、心豊かな人間性を培う教育を推進します。また、地域資源を教育教材として活かしたふるさと教育など地域に根ざした教育を推進します。	

基本施策	1-3-1-①	幼児教育の充実	
主管課名	学校教育課	所属長名	中 村 孔 一
関係課名			
1 次 評 価	基本施策の評価		
	<p>○幼・保一体化に伴う施設の適正配置、地域の実情に応じた幼児教育、小学校と連動した教育体制づくり</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校児童の減少に伴い、今後学校区が変更される可能性があることから、地域の実情に即したきめ細やかな連携を行っていく。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度においても、適正化計画に基づき幼稚園の適正配置に努め、小学校の運動会等各種行事や地域の行事に積極的に参加するなど、ふるさと教育などの取組みを行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児数の減少が歯止めがきかない状況であり、幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校が今以上に連携を密にする必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校児童の減少に伴い、今後学校区が変更される可能性があることから、今後も地域の実情に即したきめ細やかな連携を図る。 <p>○幼稚園教諭等の指導力や資質向上のための各種講演会や講座・研修等の充実</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の公立幼稚園が減少し、研修会の機会が少なくなる中、私立幼稚園や認定こども園が開催する研修会等に参加し、教諭等の指導力や資質の向上を図ると共に、幼児教育の充実、推進を行っていく。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の3幼稚園で合同研修会を3回開催し、外部講師による講演会、研究発表会等を開催した。 ・幼稚園長は毎月開催している協議のなかで、職員の資質向上、園児への対応力向上など、幼稚園教育を支える環境整備等について検討を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会については、幼稚園を取り巻く環境の変化と幼稚園教員に求められる専門性など充実したものとなったが、島外の研修会等については研修の機会が減少しており、トータルな教員の資質向上のための研修体制の充実が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の公立幼稚園が減少し、研修会開催が減少している状況ではあるが、私立幼稚園や認定こども園等が開催する研修会等に積極的に参加し、教諭等の指導力や資質の向上を図るとともに、町内小学校、保育所と連携した研修会等の機会を検討し、幼児教育の充実、推進を行っていく。 		

	<p>○就学前教育に対する保護者への理解と意識高揚などの就園支援</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援制度の下、各幼稚園、保育所及び認定こども園が連携して幼児教育の必要性について、保護者の理解を深めていく。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（こども課、福祉事務所、保健所等）と連携し、保護者への啓発や懇談の機会を設定した。懇談会や地域の方々との交流会を通じて、幼児教育の重要性についての周知が図られてきた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>子ども子育て支援制度の下、幼児教育の必要性については、各幼稚園、保育所及び認定こども園が認識不十分の部分があるため、共通認識を持つための機会を設ける必要がある。</p> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も子ども子育て支援制度の下、各幼稚園、保育所、認定こども園が連携・協力していくため協働体制に向けた意識改革の場を設定するとともに、保護者への理解及び協力がスムーズに進むよう体制づくりを強化しながら就園支援につなげていく。 		
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化時代の中、多様化する時代のニーズの質、量も大きく膨らんできているが、より良い環境を提供できるよう関係組織一体となった仕組みづくりを検討しながら幼児教育の充実に向けて取り組んでいくこと。 		
基本施策	1-3-1-②	義務教育の充実	
主管課名	学校教育課	所属長名	中村 孔一
関係課名			
	基本施策の評価		
	<p>○教育の目指すべき姿やその実現に向けた「新上五島町教育振興基本計画」の定期的な見直し</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次新上五島町教育振興基本計画に沿った教育の推進を図ると共に、今後、平成33年度に向けて第3次新上五島町教育振興計画の策定を進めていく。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度において、第2次新上五島町教育振興基本計画を策定し、今年度は1年目であるが計画に沿って実施している。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新上五島町教育振興基本計画を策定して今年度が1年目となるが、教育の目指すべき姿やその実現に向け推進している。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、第2次新上五島町教育振興基本計画に沿って教育の推進を図る。また、第3次新上五島町教育振興計画の策定にむけ、2次計画の検証等を進めていく。 		
	<p>○心豊かな人間性を培う学習環境づくりと学習態度の育成を図るための、道徳教育の充実、一人ひとりに寄り添う児童生徒指導の充実、交流学习や体験学習の推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、教職員、児童生徒、それぞれに専門性を持った外部講師を招いての講話、授業等を充実させる。 ・本町内の諸芸、諸技術に長けた方々をリストアップして、各学校へ提供し、交流学习、体験学習の充実を進める。 		

1 次評価

■平成28年度の取組概要

・7月に開催された県教育委員会主催の道徳教育推進協議会の内容を校長会、教頭会において周知し、特別教科「道徳」の今後の見通しや各学校における準備等について確認を行った。
・町教育委員会指定の道徳教育研究（奈良尾中学校）の発表会を通して、研究協議を深め、成果を全小中学校の参加者で共有した。

■評価（問題点とその要因）

・次期学習指導要領の実施（小学校：32年度、中学校：33年度から完全実施）に向けた研修の充実を行っていく必要がある。

■今後の取組方針

・県教委主催の研修会への積極的参加と町内での研修会及び学校訪問等を通して指導の充実を図る。

○生涯にわたって生き抜く体力や健康づくりの基礎を培うための、体育授業や部活動の充実、自ら心身の健康に関心を持つ態度を養う保健・食育の推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・平成28年度から給食センターが4施設から3施設となる。それに伴い、ブロックでの栄養教諭の食育指導が広域になる。管内小・中学校の食育計画実践において、課題を出し合い、次年度へ向け計画を再構築する。

■平成28年度の取組概要

・栄養教諭・学校給食担当者合同研修会を開催し、課題の共有と解決に向けた取組に努めた。
・各学校「体力向上アクションプラン」を策定し、体育授業の充実を図った。

■評価（問題点とその要因）

・栄養教諭及び学校給食担当者の課題共有・情報交換が進んできている。
・中学校の部活動は、生徒減少に伴い、部活動編成の見直しや大会開催の規模などを考える時期にある。

■今後の取組方針

・栄養教諭・学校給食担当者合同研修会を今後も継続し、食育の推進を図る。
・「体力向上アクションプラン」の分析を通して、生涯にわたって生き抜く体力づくりに基礎を培う。

○地域に根ざした特色ある学校教育の中で、生命を大切にしたり、美しいものに感動したり、他人のことを思いやる豊かな心を育てる教育の推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・町指定の奈良尾中学校の道徳教育研究の深化、他の小中学校への浸透をより充実させていく。
・生命尊重、いじめ根絶等への生徒会活動の取組の充実を進めていく。また、外部講師を招いての講話、授業の機会を増やす。

■平成28年度の取組概要

・特別教科「道徳」の実施に向けた取り組みとして、奈良尾中学校の道徳研究を各小中学校へ紹介するとともに、県教育委員会からの道徳科に関する情報提供及び指導を確実に実施した。

■評価（問題点とその要因）

・年間指導計画の見直しや別葉の作成など、道徳の教科化に向けた各学校の取り組みに差がみられた。小学校では30年度、中学校では31年度実施に向け、計画的に準備が進むよう指導を行っていく必要がある。

■今後の取組方針

・道徳の教科化に向けた各学校の整備状況の確認と指導に努め、豊かな心を育てる教育のなお一層の充実を図る。

○特色ある学校教育の実現に向けた研修会や指定研究等の充実、教職員の資質・指導力向上と児童生徒の学力向上

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・指定研究の方法、内容について見直し、検討をする。具体的には、小学校極小規模校（複式研究）、小学校、中学校の3校体制とし、必ず、複式研究が入るようにする。また、学校訪問については、教科指導員の質的向上を図り、町教委主導で指導内容の充実を図る。保護者、教職員への学力向上の研修会を開き、PTA活動の充実を図った上で児童生徒の学力向上を推進する。

■平成28年度の取組概要

・11月の校長会の中で、指定研究の方法について内容に関する抜本的見直しを行った。
 ①29年度から4年間のうち1回指導訪問実施。②研究指定校は小中学校各1校、複式研究1校とその指導を通じて指導する。③県教育実態調査の実施（①②以外の学校）

■評価（問題点とその要因）

・学校数、児童生徒数が減少する中で、極小規模校での指定研究が難しくなっている。

■今後の取組方針

・研究指定校への適切な指導とその成果の共有を図るとともに、各種研修会を通して、なお一層の教職員の資質・指導力向上と児童生徒の学力向上に努める。

2次評価

・魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりが実現できるよう、学校間・教師間の連携体制の充実を図り、教育振興基本計画に沿って質を高め、学びの意欲を育てる学校教育を推進していくこと。

基本施策

1-3-1-③

教育環境の整備

主管課名

学校教育課

所属長名

中村 孔一

関係課名

基本施策の評価

○子どもたちが安全で安心して学べる教育環境にするための校舎や体育館等の学校施設の整備、老朽化した教職員住宅の改修・改善など住環境の確保

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・学校施設整備計画、教職員住宅ストック計画に沿って施設の整備、老朽化した教職員住宅の解体、改修を行う。

■平成28年度の取組概要

・魚目小学校体育館大規模改造工事を始め、各小中学校施設の整備及び老朽化が激しい教職員住宅の解体・修繕を行った。

■評価（問題点とその要因）

・学校施設の整備はもとより、老朽化した教職員住宅の解体、改修を行い、安心・安全な教育環境整備のため、年次計画に基づき事業を進める必要がある。

■今後の取組方針

・学校施設整備計画、教職員住宅ストック計画に基づき施設の整備、老朽化した教職員住宅の解体、改修を実施する。

○グローバル化、情報化社会に対応するためのICT機器を活用した教育の推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・今後国、県のICT教育の動向を見ながら、パソコンの更新、タブレットの導入、無線LAN等の環境整備を含めて、的確な機器の選定を行いICT教育の推進に活用していく。

■平成28年度の取組概要

・今年度も教育用・校務用パソコンを年次計画により更新を行った。また、各学校において普通教室でのネットワーク環境の整備を行うとともに、デジタル教科書を一部の学校で試験導入するなど、各種ICT機器を活用し教育の推進に努めた。

1次評価

■評価（問題点とその要因）

・ICT機器等年々多種多様化しており、教育面、財政面から機器を選定するにあたり適正、的確な判断が難しい。

■今後の取組方針

・引き続き、国、県のICT教育の動向を見ながら、パソコンの更新、タブレットの導入、無線LAN等の環境整備を含め、的確な機器の選定を行いICT教育の推進を図る。

○過疎化や少子化が進む中で、子どもたちが活気ある環境の中で教育を受けられるよう教育環境の適正化を目指し、地域住民・保護者とともに協議による施設の統廃合や小中高一貫教育も視野に入れるなど教育行政のあり方の検討

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・国、県の動向、他市町の状況を調査した結果を活用し、かつ本町の現状に即した第3次学校等適正配置計画書の策定を平成28年度に行う。

■平成28年度取組概要

・第3次学校等適正配置計画書の策定の為、今年度は新上五島町立学校等適正配置審議会条例を策定し、審議会を3回開催した。

■評価（問題点とその要因）

・今後も幼稚園・小中学校の園児、児童生徒の減少は歯止めがきかない状況の中、将来にわたって義務教育の機会均等や水準の維持・向上を図る観点から、本町の地域における実情を踏まえ小中学校の適正な規模及び配置を検討し実行していくことが必要である。

■今後の取組方針

・平成29年度においても審議会を開催し、本町の現状に即した第3次学校等適正配置計画書の策定を行う。

2次評価

・子どもたちの教育環境の充実に努めていくため、引き続き、施設改修、ICT活用など各計画に沿って教育環境の整備を推進すること。

基本施策

1-3-1-④

教育における学校・家庭・地域の連携の推進

主管課名

学校教育課

所属長名

中 村 孔 一

関係課名

基本施策の評価

○地域の子どもの学校と一体となって育むための不登校やいじめの相談体制整備、安全確保や規律正しい生活習慣の育成などの家庭や地域との連携

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・いじめ等対策支援員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの業務内容、実態をいろいろな機会、場所で紹介し、広めていく。また、気になる児童生徒、保護者へのアプローチも素早くするために、学校、関係機関との連携を強化する。また、啓発資料等の積極的発信を行う。

■平成28年度取組概要

・いじめ等対策支援員・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの効果的な活用により、いじめや不登校、DVなどの個別の事例について個別の対応をすることができた。
 ・町いじめ問題等対策連絡協議会を中心とした講演会や生徒への学習会を実施した。（8/22教職員向け講習会：120名、11/6町PTA連合会研修大会：350名、11/7北魚目中学校での生徒向け県集会：44名）

■評価（問題点とその要因）

・教職員の研修会については、夏休み期間を活用して日程を設定したが、出勤日の翌日となり帰省した教職員が多いなど、参加者が少なく日程調整、啓発を確実に行う必要がある。

1次評価	<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等対策支援員・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの更なる充実を図るため、日頃から各学校への関わりを増やしていくなど、効果的活用について模索していく。 ・教職員が全員参加できるよう、町いじめ問題等対策連絡協議会を中心とし、講演会の内容・日程の見直しなど充実を図っていく。
	<p>○学校・家庭・地域が連携して子どもの教育を行っていくため、学校教育活動の公開と情報の共有化</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町における学校情報セキュリティポリシーや基本方針を策定し、個人情報の保護について取組を進めていく必要がある。また、町の広報への発信等も進めていきたい。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ブログによる情報の積極的配信を進めた。特に校長会・教頭会等で呼びかけたことで、更新回数が増加し、保護者・地域住民からのフィードバックも増えている状況にある。 ・学校情報セキュリティポリシーの見直しを行い、また、各種会議で個人情報保護視点での配慮徹底を推進している。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校情報セキュリティポリシーの策定については、毎年改訂を行い、また、その共通理解について、各学校で徹底をより一層進めていかなければならない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校情報セキュリティポリシーの策定については、都度の見直しを行っていく。 ・学校、家庭、地域が連携した学校行事の実施と学校ブログ、学校だより等を使った情報発信の充実に努めていく。 ・学校支援会議をベースとした「コミュニティ・スクール」への移行を進め、地域、家庭の連携充実と生涯学習との融合について研究し、「コミュニティ・スクール」の先進校指定と実践の公開、共有を図っていく。
2次評価	<p>○地域資源を教育教材として活かした教育など学校と地域が連携したふるさと教育の推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材マップの作成、人材、協力できる事業所の掘り起こしを行う。 ・小学校中学年向けの社会科資料集（web版も含む）の改訂、活用のための啓発も視野に入れていきたい。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭会、町教育研究会社会科部会等の各種団体において、地域人材マップの作成、事業所の掘り起こし等に取り組んでいる。 ・社会科資料集（web版も含む）の改訂に向け、組織、内容、方法などの検討を行った。 ・総合的な学習の時間におけるふるさと学習で、地域を知り、地域を愛する学習が広がり、地域のために何をしなければならないかなど、故郷を考える児童生徒が増えた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校でふるさと学習（地域を知り、地域を愛し、地域に貢献しようとする児童生徒の育成）が推進され、様々な実践ができてはじめた。また、学校ブログ等で情報発信を行い、保護者等からの評価も高くなってきている。 ・地域人材マップ、事業所の掘り起こしは検討してできているものの、予算の関係で資料集の改訂はできていない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ふるさと学習の更なる充実に向けて取り組んでいく。 ・地域人材マップ・事業所の掘り起こしについては、体系的にデータ化し、全校で共有できるシステムを構築していく。社会科資料集の改訂については、環境整備をより一層推進し、実現に向け取り組んでいく。 <p>・地域課題に向き合うキャリア教育が推進されているなかで、自校のみで完結してしまわないよう、小中高のつながりを更に深めていくとともに、学校と地域が連携したキャリア教育が重要であることから、SKG20プロジェクト事業を核として、様々な機会を通して子ども達に伝えていくとともに、地域の人材の更なる活用を推進していくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
「教育振興基本計画」 策定・見直し	目標	-	-	-	平成33年度 策定・見直 し	平成33年度 策定・見直 し	平成33年度 策定・見直 し
	実績	平成23年度 策定	平成27年度 策定・見直 し	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
「ふるさと教育」の実 施（小学校）	目標	-	-	-	年1回以上	年1回以上	年1回以上
	実績	年1回	1回	1回	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-
「ふるさと教育」の実 施（中学校）	目標	-	-	-	年1回以上	年1回以上	年1回以上
	実績	年1回	1回	1回	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-3-1-① 幼児教育の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 通園費補助事業 【学校教育課】 (事業目的) 廃園となった園区の園児の保護者に対し、通園費の補助を行い、遠距離通園の保護者負担の軽減を図る。 (事業概要) 廃園となった園の園区に居住する園児の通園に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的な負担の軽減を図り、修園の機会均等に資する。	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	対象園児数	
		目標値	10人	11人
		実績値	10人	11人
		達成率	100%	100%
		決算(見込)額	209千円	441千円
		成果指標及び目標値の説明	遠距離通園の保護者負担の軽減を図るため、補助対象園児数を指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 補助金申請のあった対象園児の保護者に対し補助金を交付した。 (成果・課題等) 補助金申請のあった対象園児の保護者全員に補助金を交付できた。	(取組実績) 補助金申請のあった対象園児の保護者に対し補助金を交付した。 (成果・課題等) 補助金申請のあった対象園児の保護者全員に補助金を交付できた。		

1-3-1-② 義務教育の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 文化活動補助事業 【学校教育課】 (事業目的) 町内中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図る。 (事業概要) 町中学校文化連盟に補助金を交付し、中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図る。 (参加・活動実績) 長崎県吹奏楽コンクール(上五島中・有川中) 長崎県アンサンブルコンテスト(上五島中) 五島吹奏楽祭(上五島中・有川中) 第18回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会(上五島中)	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	活動件数	
		目標値	5件	6件
		実績値	5件	6件
		達成率	100%	100%
		決算(見込)額	500千円	880千円
		成果指標及び目標値の説明	中学校の文化活動の充実のため各学校の活動件数を成果指標としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請しており交付した。 (成果・課題等) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請しており交付して、中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図った。	(取組実績) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請しており交付した。 (成果・課題等) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請しており交付して、中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図った。		

1-3-1-② 義務教育の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名)</p> <p>体育活動補助事業</p> <p>【学校教育課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>町内中学校の体育活動の振興及び県大会出場等における保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>町内で開催される中学校総合体育大会の円滑な運営及び体育活動の振興を図るため、運営にかかる経費として、新上五島町中学校体育連盟に補助金を交付する。</p> <p>また、県中総体、県新人大会への出場に対し、旅費を補助することで中学校部活動の振興、加えて保護者の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>中体連事務局運営費1,540千円 県大会等出場費補助金5,485千円</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	参加延人数	
		目標値	363人	356人
		実績値	363人	356人
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	7,686千円	7,025千円
		成果指標及び目標値の説明	中学校生徒のスポーツ力の向上、活動の充実のため各学校の参加者数を成果指標としている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>県中総体、県新人大会出場者数 若松中：55人、上五島中：92人 魚目中：35人、北魚目中：5人 有川中：159人、奈良尾中：17人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>新上五島町中学校体育連盟に補助金を申請どおり交付して、中学校の体育活動の振興及び県大会出場等への保護者の経済的負担軽減を図った。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>県中総体、県新人大会出場者数 若松中：41人、上五島中：113人 魚目中：56人、北魚目中：1人 有川中：132人、奈良尾中：13人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>新上五島町中学校体育連盟に補助金を申請どおり交付して、中学校の体育活動の振興及び県大会出場等への保護者の経済的負担軽減を図った。</p>		

1-3-1-③ 教育環境の整備

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名)</p> <p>高等学校部活動振興等補助事業</p> <p>【総務課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>部活動各種大会での活躍等、生徒の心身の健全な発達に資することを目的として、町内の高等学校2校に対し補助金を交付し活動を援助する。</p> <p>(事業概要)</p> <p>部活動振興等補助金 ・上五島高等学校 1,530千円 ・中五島高等学校 1,377千円</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	活動延べ人数	
		目標値	526人	642人
		実績値	690人	639人
		達成率	131%	99.53%
		決算（見込）額	2,907千円	2,907千円
		成果指標及び目標値の説明	活動延べ人数÷計画時における活動者予定数（2校の合計）	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>両高等学校へ補助金を申請どおり交付した。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>国民文化祭かごしま2015準優勝（上高書華道部）／インターハイ出場（上高男子4×400MR）／長崎県高校陸上競技選手権大会 男子走り幅跳び優勝（大会新 上高）／第60回記念県展入賞（上高美術部2名）</p>	<p>(取組実績)</p> <p>両高等学校へ補助金を申請どおり交付した。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>長崎県吹奏楽部コンクール銅賞（上高）／書道パフォーマンス甲子園予選九州地区2位（上高）／県高校総合文化祭 優良賞（上高）／インターハイ出場（女子400m、4×400mR）</p>		

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	(事業名) 町教育研究会補助事業 【学校教育課】 (事業目的) 教育研修、研究、調査を行い、教職員の資質の向上及び教育の振興を図る。 (事業概要) 新上五島町教育研究会に補助金を交付し、研修会の開催、教育研究・調査を行うことにより、教職員の資質の向上を図る。 各種教育研究費300千円 教育委員会指定研究費1,100千円（上郷小・魚目小、奈良尾中、特別支援教育グループ）	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	参加人数	
		目標値	211人	212人
		実績値	211人	212人
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	1,330千円	1,400千円
		成果指標及び目標値の説明	研修会参加者数÷研修会参加予定者数	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	町内の教職員の資質の向上を図るため研修会を開催し、211人の参加があった。	町内の教職員の資質の向上を図るため研修会を開催し、212人の参加があった。	
	(成果・課題等)	教育研修、研究、調査を行い、教職員の資質の向上及び教育の振興を図るため、引き続き教育研究会の活動の充実を行っていく。	教育研修、研究、調査を行い、教職員の資質の向上及び教育の振興を図るため、引き続き教育研究会の活動の充実を行っていく。	
3	(事業名) 教育用パソコン等更改事業 【学校教育課】 (事業目的) 新上五島町内の各小中学校には教職員が使用する校務用パソコン、児童生徒が授業等で使用する教育用パソコンを設置している。 年次計画により、老朽化した教育用及び校務用パソコン等を更新し、教育環境の整備を図る。 (事業概要) 平成28年度計画 ・校務用70台及び周辺機器更新（有川小・東浦小・教育委員会事務局） ・サーバ、校務用及び教育用機器の維持管理	実施年度	平成24年度から	
		成果指標	更新台数	
		目標値	-	70台
		実績値	-	70台
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	18,778千円
		成果指標及び目標値の説明	年次計画による教育用パソコン更新予定台数を目標値、更新実施台数を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	予定どおり校務用パソコン70台ほか周辺機器の入替を実施できた。	
	(成果・課題等)	-	校務用パソコン70台と周辺機器の整備を行い、学校等における業務効率の向上及び情報セキュリティの強化を図った。	

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	(事業名) 教員住宅解体事業 【学校教育課】 (事業目的) 教員住宅は、建築後30年から40年経過している施設が多い。特に老朽化が著しく入居不可能な施設について、近隣住宅への影響等も考慮して計画的な解体を行うものである。 (事業概要) ・平成28年度 教員住宅1戸解体予定 ・平成29年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成30年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成31年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成32年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成33年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成34年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成35年度 教員住宅2戸解体予定	実施年度	平成20年度～平成35年度	
		成果指標	教員住宅解体棟数	
		目標値	2棟	1棟
		実績値	2棟	1棟
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	2,794千円	3,997千円
		成果指標及び目標値の説明	建築後30年から40年経過している施設で老朽化が著しい入居不可能な教員住宅の解体棟数を成果指標とし、当該年度の解体棟数を目標値とする。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 計画どおり2棟を解体した。 (成果・課題等) 2棟の老朽施設の解体を実施し、教員住宅に係る維持管理費用の削減され、また、周辺環境への影響も緩和され、安全安心な住民生活を確保できた。	(取組実績) 計画どおり1棟を解体した。 (成果・課題等) 1棟の老朽施設の解体を実施し、教員住宅に係る維持管理費用の削減され、また、周辺環境への影響も緩和され、安全安心な住民生活を確保できた。		
5	(事業名) 北魚目小学校校舎防火扉改修事業 【学校教育課】 (事業目的) 防火扉の経年劣化により、感知器のみならず手動でも防火扉の開閉が出来ない状態となっていたことから、児童・教職員の安全を確保する為、改修する必要がある。 (事業概要) 鋼製戸7箇所 床ビニールシート張替4.9㎡ 床点検口10箇所 受信機取替1面 光電式煙感知器6個 児童閉鎖装置13個取替 他塗装等	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	6,623千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより健全な施設機能の回復が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 計画どおり改修した。 (成果・課題等) 防火扉の経年劣化により防火扉の改修を7箇所予定し、予定通り完成した。児童・教職員の安全を確保した。	-	-	

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
6	(事業名) 魚目小学校体育館大規模改造事業 【学校教育課】 (事業目的) 築35年を経過しており老朽化による内外壁、床、天井等に劣化多数見られ授業や諸活動に支障を来す状況であり、大規模な改修が必要である。 (事業概要) 防水工事・外壁改修・建具改修・内装改修・塗装改修・躯体改修	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率(%)	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算(見込)額	-	47,491千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより健全な施設機能の回復が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 計画どおり完成した - (成果・課題等) 老朽化により授業等に支障をきたしていたが、工事後は改善できた。		
7	(事業名) 若松東小学校体育館大規模改造事業 【学校教育課】 (事業目的) 老朽化著しい若松東小学校の大規模改造工事を行う。 (事業概要) 平成28年度：実施設計書作成 1.0式 平成29年度：工事 1.0式	実施年度	平成28年度～平成29年度	
		成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	-	100%
		実績値	-	2.8%
		達成率	-	2.8%
		決算(見込)額	-	1,998千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 平成29年度工事に資する実施設計書が作成された。 - (成果・課題等) 計画どおり進んでいる。		

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
8	(事業名) 若松中学校法面落石防止対策事業 【学校教育課】 (事業目的) 雨及び風化、有害長充当の影響を受け法面の落石が激しく、生徒等の安全を図るため防護柵の設置が必要である。 (事業概要) 校舎裏落石防護柵 L=36m 体育館裏落石防護柵 L=9m	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率 (%)	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算(見込)額	-	6,804千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより安全確保が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 計画どおり完成した - (成果・課題等) 落石防護柵の設置により生徒等の安全を確保できた。		